

# 音 楽

## 音楽科における令和5年度の授業改善推進プランの検証

### 取り組みの成果と課題

#### 【成果】

- ・ミュージックフェスでの発表を目標に、表現する喜びや楽しさを感じて活動することができた。
- ・4～6年の歌唱において、響きのある歌声で歌おうとする意識が定着し、柔らかな歌声で歌うことができた。
- ・コロナ禍で低下した歌唱における声量や、吹奏楽器の基礎的能力が向上してきた。

#### 【課題】

- ・より良い表現の工夫や問題解決の取組において、自分の思いを適切な言葉で言語化し、相手に伝えることに課題がある。

### 音楽科における課題

- ・音楽の基礎的、基本的能力を定着させ、自分の思いをもち、音楽で表現できる技能を育てる。
- ・音楽の良さや面白さを感じ取り、音楽のしくみや要素に気を付けて聴く耳を育てる。
- ・友達との関わりの中で、相手の表現の良さや課題を見付け、適切な言葉にして伝え、主体的に問題解決を図る能力を育てる。

### 音楽科における改善策

- ① 音楽の基礎的、基本的能力を定着させ、自分の思いをもち、音楽で表現できる技能を育てる。

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室掲示や板書を工夫して、基礎、基本の内容が視覚的に確認できるようにする。</li> <li>・指示を明確にし、個別に評価、指導する機会を多く設ける。</li> <li>・思ったり感じたりしたことを全体で共有し、思いのもち方を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室掲示や板書、楽譜など教材を工夫し、基礎、基本を視覚的に確認できるようにする。</li> <li>・自分の思いを言語化し、音楽で表現できるように、速度や強弱、曲想などの音楽表現を豊かにするための技能を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室掲示や板書、楽譜など教材を工夫し、基礎、基本の定着を図る。</li> <li>・友達との関わり合いの中で、どのように表現したいのか自分の思いを相手に伝え、より良い表現を目指して音楽表現の工夫を重ねることができている場を意図的に設定する。</li> </ul>

- ② 音楽の良さや面白さを感じ取り、音楽のしくみや要素に気を付けて聴く耳を育てる。

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体全体で音楽を感じて表現する活動を多く取り入れ、曲想の変化に気付かせる。</li> <li>・友達の演奏を静かに聴き、良い所を見付ける活動を取り入れる。</li> <li>・生の演奏を聴き、音色の美しさを肌で感じられる機会をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の音色の特徴や美しさを感じ取り、音楽を形作る要素を意識して聴けるように、掲示物を工夫する</li> <li>・互いの演奏の良さを感じ取り、話型を用いて、相手に分かりやすく伝え合う活動を多く取り入れる。</li> <li>・生の演奏を聴き、音色の美しさを肌で感じられる機会をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽のしくみや音楽を形作る要素を意識して互いの演奏を聴き、感じたことを音楽の要素を用いて伝え合い、演奏を高めていく活動を取り入れる。</li> <li>・生の演奏を聴き、音色の美しさを肌で感じられる機会をつくる。</li> </ul>

- ② 友達との関わりの中で、相手の表現の良さや、課題を見付け、適切な言葉にして伝え、主体的に問題解決を図る能力を育てる。

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"><li>・皆の前で歌ったり楽器を演奏したりする機会を増やし、互いに良いところを見付けて発表し合う活動を行う。</li><li>・ICT 機器などを活用し、日頃の学びを発表する機会を設け、成功体験をさせる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・グループや個人で発表する機会を増やし、互いに認め合う活動を充実させる。</li><li>・音楽的な語彙力を向上させ、話型を用いて感じたことを言語化できるように掲示物を工夫する。</li><li>・ICT 機器を活用し、友達の表現や考え、友達からの評価等を共有する場を設定する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・互いの演奏を聴き合う活動の中で、相手の演奏の良さや課題点を伝える場を多く設定する。</li><li>・自分の考えを、音楽的な要素を用いながら具体的に伝える活動を多く取り入れる。</li><li>・ICT 機器を活用し、友達の表現や考え、友達からの評価等を共有する場を設定する。</li></ul>